

週日の説教

金 大烈 神父 2009年11月11日(水)

《信仰の花・信仰の実り、それは感謝の心》

おはようございます

今日の福音は(ルカ 17・11~19)説明しなくても、どの様なメッセージを持っているか私達はよく知っていると思います。とにかく信仰の花、信仰の実りと言えば感謝の生活だと思えます。もし私達の心の中に、感謝の思いがなかったらそれは、信仰の生活とは言えないでしょう。

さあ、皆様ご自分の事を振り返ってみて下さい。私はよく感謝するタイプか、あるいはいつも文句ばかり言うタイプか。どうです？誰かに言われなくても、皆様、自らご存知だと思います。

確かな事は、感謝の心がなかったら私達は、絶対、靈的に発展が出来ない事を意識しましょう。

十人の人が癒されて一人だけ感謝しに来ました。おまけにその人はサマリア人でした。その外国人だけ戻ってきて感謝する姿を見て、イエス様はどんな思いになったのでしょうか。実際、信仰の生活している私達が、いつも考えなければならぬのはこういう事ではないかと思えます。

皆様、毎日毎日その一日が感謝の気持でしょうか。ご自分の生活、ご自分の色々な事を考えて見て、感謝する心以外に、他に何かがあるのでしょうか。率直に感謝する心があるかどうか振り返ってみて下さい。もしなかったら、やり直さなければならぬと思えます。

今日の話をよく考えてみて下さい。もし神様から十の恵みを頂いても気がつくのは一つ位だけ。これが普通の私達の姿ではありませんか。そして、十人がいれば、たった一人ぐらいいだけ神様のことに感謝の心を持って耳を傾けようとしているのが今の時代の流れだと思いませんか。これが現実的な世界の今の姿だと思えます。

さあ、皆様、感謝しましょう。感謝しましょうと言っても、感謝する気持が伴わなければ言葉だけの感謝だけなら、何の意味もありません。感謝というものは自然にこの中から(胸に手を当てる)出るものなのですが……感謝する心が起きてくるためには何よりも、自分自身のことを正確に見通さなければなりません。自分のことを客観的に正確にみることが出来ないから、感謝することが出来ないのです。

よく考えてみますと、私達が偉くて今まで来た訳ではありません。自分が偉くて、権力を持って何かをやって来たと言え、やりがいになるかも知れませんが、感謝までつなぐのは難しいと思えます。本当に私達は何の力も能力もないのに、ここまで導いて下さったことを悟ったら、自然に感謝する気持が出てきます。「私に病気を許して下さいのも感謝します。老けることにも感謝します。色々家庭の中で難しさがあるけれど、しかし、私があなたに頼るその気持を許して下さいので感謝します。」と、この様に言うのが信仰ではないかと思えます。

ありがとうございました。